

PROTECTING OFFICE 365 EXCHANGE ONLINEの保護

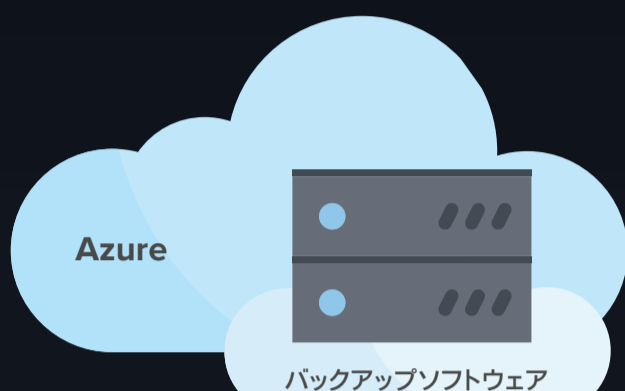


重要な考慮事項

Eメールは私たち全員が毎日利用する最もビジネスクリティカルなアプリケーションの一つですが、MicrosoftはOffice 365 Exchange Onlineに対して最小限の短期的データ保護しか提供していません。コンプライアンスに対応し、データロスのリスクを軽減するために、ほとんどの組織では、より長期にわたるバックアップの維持やディザスタリカバリのための複数のコピーの維持など、より包括的なデータ保護が必要です。ここでは、Exchange Onlineを保護する際に考慮すべきベストプラクティスをご紹介します。

1. Azure対応ソリューションを選択する

Azureとネイティブに統合するソリューションを選択することにより、リカバリ時間と目標リカバリポイントに対する影響を回避し、バックアップのパフォーマンスを確保します。



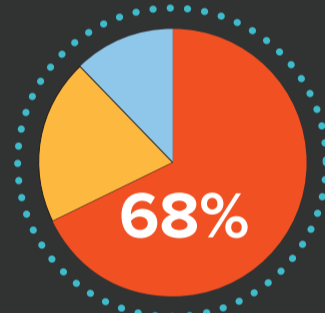
Azureを試験的に使用していたという回答者のうち、2018年のAzure導入率は45%でしたが、2019年では52%に増加しました。¹



2. リカバリの柔軟性を維持する

個人、共有、リソースのメールボックスなど、さまざまなレベルのEメールリカバリを提供するソリューションを探すことにより、確実にリカバリの目的を満たし、リカバリ時間を短縮します。

120万もの会社がMicrosoft 365 Exchange Onlineを使用しており、Eメール通信技術では68%の市場シェアを占めています。²

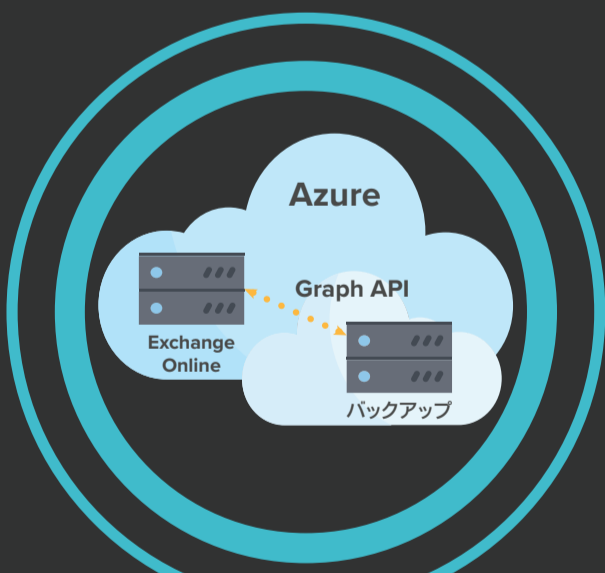


3. 常にディザスタリカバリ計画を準備する

バックアップの複数のコピーを維持し、さまざまな場所に保存できるソリューションを探します。



組織の90%が今後12ヶ月以内にデータ保護戦略の一環としてクラウドの利用を計画しています。³



4. 将来性のある製品に投資する

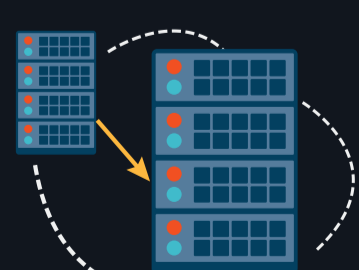
バックアップソリューションには、2020年までにフェーズアウトされるMicrosoft Exchange Web Servicesではなく、Microsoft GRAPH APIを使用します。

2020年10月13日をもって、MicrosoftはExchange Web ServicesでExchange Onlineにアクセスするためのベーシック認証のサポートを中止し、ベーシック認証を完全に廃止します。⁴



5. ストレージコストを最小限に抑える

データ重複除外ソリューションでバックアップを補完し、ストレージコストを大幅に削減します。大量のEメールおよび添付ファイルが原因で、バックアップ・ストレージ・コストが非常に高くなっています。



2025年までに全世界のデータは61%増加し、175ゼタバイトになります。これは前年の2025年での推定値を9%超えています。⁵

Quest NetVaultの機能を確認する

Quest